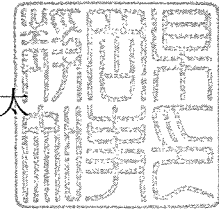


# 再評価に係る県知事等意見

交政建第 57 号  
令和 2 年 11 月 13 日

国土交通省中部地方整備局長  
堀田 治 様

静岡県知事 川勝 平太



中部地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る  
意見聴取について（回答）

令和 2 年 10 月 26 日付け国部整企画第 74 号で依頼のあった標記の件について、下  
記のとおり回答します。

#### 記

#### 1 道路事業「一般国道 1 号 藤枝バイパス」 再評価対応方針（原案）に係る意見

対応方針（原案）のとおり、事業の継続について、異存ありません。

本事業は、藤枝市仮宿から島田市野田に至る区間のバイパスの 4 車線化事業であり、慢性的な交通渋滞の緩和、交通事故の削減や、企業活動の支援や救急医療圏の拡大などのストック効果が期待されております。さらに、本道路沿線の工業団地と広域防災拠点である富士山静岡空港とのアクセス道路としても重要な事業です。

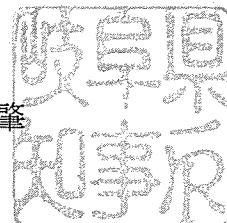
今後も、効果の早期発現が図られるよう、引き続き必要な予算の確保とコスト縮減の徹底に努め、施工ステップに応じた段階的な供用の検討もしながら事業を推進するようお願いします。

また、各年度の事業実施に当たっては、引き続き本県と十分な調整をお願いします。

技第505号  
令和2年11月13日

国土交通省中部地方整備局長 様

岐阜県知事 古田 肇



中部地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針（原案）の作成に係る意見聴取について（回答）

令和2年10月26日付け国部整企画第74号で依頼のありました標記のことについて、  
下記のとおり回答します。

記

1. 一般国道41号 石浦バイパスについて

対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。

なお、今後の事業の実施にあたっては、以下の内容についてご配慮願います。

- ・本バイパスは、飛騨地域の連携強化、活性化に寄与する重要な道路と認識していることから、速やかに整備を進めるべき事業であり、引き続き早期供用に向けた事業の推進をお願いします。
- ・事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底したコスト縮減をお願いします。

2. 一般国道158号 中部縦貫自動車道（高山清見道路）について

対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。

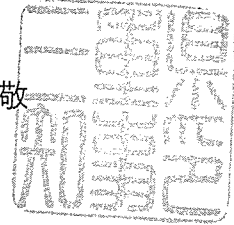
なお、今後の事業の実施にあたっては、以下の内容についてご配慮願います。

- ・中部縦貫自動車道は、北陸と関東を最短距離で結ぶ高規格幹線道路であり、当県をはじめ中部内陸地域の一体的な発展を図るうえで極めて重要な役割を果たす道路です。
- ・「(仮称) 丹生川IC～高山IC間」については、開通見通しを示したうえで早期開通をお願いします。
- ・事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底したコスト縮減をお願いします。

県土 第26-18号  
令和2年11月12日

国土交通省 中部地方整備局長 様

三重県知事 鈴木英敬



中部地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る  
意見聴取について（回答）

令和2年10月26日付国部整企画第74号で依頼のありましたこのことにつき  
まして、下記により回答いたします。

#### 記

##### 1 道路事業 一般国道42号 熊野尾鷲道路（Ⅱ期）

回答：対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。

意見： 一般国道42号熊野尾鷲道路（Ⅱ期）は、広域的な交流・連携の促進を  
支えるとともに、近年頻発化・激甚化する台風・豪雨災害や、発生が危惧  
される南海トラフ地震による津波発生時において、現道（国道42号）と  
のダブルネットワークを形成し、災害時の救助・救急、医療活動を支える  
「命の道」となる重要な道路です。

また、令和3年に開催される「三重とこわか国体・三重とこわか大会」  
において、東紀州地域の会場へのアクセスルートとして活用されることが  
期待されています。

よって、対応方針（原案）のとおり事業継続し、開通見通しである令和  
3年夏頃までに確実に供用されることを求めます。

なお、事業実施にあたっては、全体事業費が大幅に増となっていること  
から、さらなるコスト縮減に努められたい。

##### 2 道路事業 一般国道42号 熊野道路

回答：対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。

意見： 一般国道42号熊野道路は、広域的な交流・連携の促進を支えるとともに、  
近年頻発化・激甚化する台風・豪雨災害や、発生が危惧される南海トラフ  
地震による津波発生時において、現道（国道42号）とのダブルネット  
ワークを形成し、災害時の救助・救急、医療活動を支える「命の道」と  
なる重要な道路です。

特に、第二次救急医療施設である尾鷲総合病院への搬送時間短縮により  
救急医療活動を支える極めて重要な道路となります。

また、当県では、平成29年度から熊野道路の用地取得業務を担う組織  
を設置して用地取得に精力的に取り組み、円滑な事業環境の確保を図って

いるところ です。

よって、対応方針（原案）のとおり事業継続し、一日も早く供用されることを求めます。

なお、事業実施にあたっては、全体事業費が大幅に増となっていることから、さらなるコスト縮減に努められたい。

### 3 道路事業 一般国道42号 紀宝熊野道路

回答：対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。

意見： 一般国道42号紀宝熊野道路は、広域的な交流・連携の促進を支えるとともに、近年頻発化・激甚化する台風・豪雨災害や、発生が危惧される南海トラフ地震による津波発生時において、現道（国道42号）とのダブルネットワークを形成し、災害時の救助・救急、医療活動を支える「命の道」となる重要な道路です。

特に、第二次救急医療施設である紀南病院への搬送時間短縮により救急医療活動を支える極めて重要な道路となります。

御浜インターチェンジ（仮称）位置の変更については、紀南病院へのアクセス性が向上し、平時・災害時ともに道路ネットワーク機能の強化が期待されることから、沿線自治体もこれを望んでいます。

よって、対応方針（原案）のとおり事業継続し、一日も早く供用されることを求めます。

なお、当県としても、インターチェンジが接続する道路の整備について、紀宝熊野道路の整備に遅れることなく、御浜町と連携して進めてまいります。

また、事業環境の確保のため、近畿道紀勢線推進プロジェクトチームを設置しており、用地取得や事業調整に取り組めます。

事務担当

三重県 県土整備部

公共事業運営課 公共事業運営班

Tel: 059-224-2915

Fax: 059-224-3290